

日本医史学雑誌 第四十八卷 第一号 目次

原著

医学館における医学考試について(一).....	戸出 一郎.....	三
『解体新書』の原著者クルムスについての研究.....	石田 純郎.....	三
華岡青洲の「乳巖姓名録」の研究——個別の症例記録との比較検討.....	松本 明知.....	三
Mohnike and Vaccination: Deshima-doctor in the Wake of Von Siebold.....	Harmen BEUKERS.....	三
研究ノート		
異本病草紙の伝本に就いて.....	林 美朗.....	七
ひろば		
関寛齋「御容体心覚」.....	芝木 秀哉.....	八一
資料		
史料「故 Jo. Ad. クルムス博士の手稿からの抜粹」.....	石田 純郎.....	九〇
記事		
例会記録		
例会抄録		
関東大震災と横浜「関西村」の病院について.....	中西 淳朗.....	一〇四
大英図書館のスタイン医薬文書.....	真柳 誠.....	一〇六
書籍紹介		
黄 煌『中医伝統流派の系譜』.....	安井 廣迪.....	一〇八
正木 繁『消印は知っていた』.....	蔵方 宏昌.....	一〇
C・D・オマリー『プリユッセルのアンドレアス・ヴェサリウス 一五一四—一五六四』.....	藤田 尚男.....	一一
新村 拓『在宅死の時代——近代日本のターミナルケア』.....	杉田 暉道.....	一一三
吉田 忠・深瀬泰旦編『東と西の医療文化』.....	蒲原 宏.....	一一五

瀧澤利行『養生の楽しみ』	……………	鈴木 則子	二七
川原秀城『毒薬は口に苦し』	……………	吉元 昭治	二八
『宗田文庫目録』	……………	奥沢 康正	二九
『大同薬室文庫蔵書目録』	……………	小曾戸 洋	三〇
神戸十四郎 編『宮崎県医史懇話会二十二年の歩み』	……………	中西 淳朗	三一
文庫めぐり			
岡山大学附属図書館鹿田分館	……………	中山 沃	三二
鸚軒文庫	……………	町 泉寿郎	三三
文教大学越谷図書館池田文庫	……………	宮川 浩也	三四

日本医史学雑誌	……………	……………	……………
四十七巻総目次	……………	……………	……………

《本号の表紙絵》

〔大酒国の図〕

本表紙絵は、多紀元徳（安元、1731～1801）によってその晩年の寛政年間（1789～1800）に、別号の藍溪を用いて著された養生論『巨登富貴草』の中から「大酒国の図」である。『巨登富貴草』は挿絵入りの物語型養生論であり、彩画は粟田口蝶斎という絵師が行っている。元徳は躋壽館の創始者元孝の子で、後に同館を医学館と改める。『医家初訓』『医学平言』『廣惠濟急方』などを著す。『巨登富貴草』は安在某なる主人公が富裕でありながら、寿命の必要を感じ、不老長寿の「靈剤」を求めて蓬萊山へと旅立って、「上天子より下庶民にいたるまで尽く色慾に溺るゝをむねとしたる習俗なり」という「女色国」、次いで「我身の末をも打忘れ、常に酒宴をなす」のが風俗の「大酒国」、そして巨人のいる「龍伯国」を探訪する中で養生の要諦を「体験」する物語である。パリ製の飛行船「りゆくとするうふ」が登場したり、巨人の体内を探訪するなど全編幻想的な構成である。同書2巻は東京国立博物館所蔵。（瀧澤 利行）

訂正

本誌 47 卷 4 号の表紙絵解説文のタイトルを「二〇世紀最大の科学史家ジョージ・サートンの蔵書票」と訂正致します。